

令和06年度

石田 浚渫委託  
特記仕様書

京都市伏見区石田西ノ坪2番地  
京都市上下水道局下水道部 石田水環境保全センター

# 第 1 章 総 則

## 1 適用範囲

本仕様書は、表記委託に適用する。

## 2 用語の定義

この仕様書において使用する用語は、次に定めるところによる。

- (1) 指示とは、総括監督員、主任監督員又は担当監督員（以下「監督員」という。）が受注者に対し、その委託業務の遂行に必要な事項について書面又は口頭にて、実施させることをいう。
- (2) 承諾とは、受注者の報告又は提案事項について、監督員が同意することをいう。
- (3) 協議とは、監督員と受注者が対等の立場で合意することをいう。
- (4) 設計図書とは、仕様書・内訳書・添付図面を総称していう。

## 3 委託業務の履行

本委託は設計図書により、監督員の指示に従い、正確に業務を履行しなければならない。

## 4 疑義の確認

本仕様書に明記されていない事項又は内容について疑義が生じた場合は、監督員と協議の上定める。

## 5 法規の遵守

受注者は委託業務に当たり、次の各号に掲げる法令その他関係諸法規を遵守して委託を安全かつ円滑に施行し、その適用及び運用は受注者の責任において行なわなければならない。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| (1) 京都市上下水道局契約規程 | (5) 建設業法        |
| (2) 労働基準法        | (6) 建築基準法       |
| (3) 労働安全衛生法      | (7) 電気事業法       |
| (4) 下水道法         | (8) その他関係法令、例規等 |

## 6 書類の提出

受注者は、工事関係書類を遅滞なく提出しなければならない。

なお、様式及び提出部数については、監督員の指示によるものとする。また、契約後、区分紙を挿入した提出書類用ファイルを作成し、速やかに提出すること。

## 7 現場代理人等

- (1) 受注者又は当局の承諾を得た代理人は、委託期間中現場に常駐して指揮に当たらなければならない。ただし、現場代理人の委託現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、監督員との連絡体制が確保されると認められた場合には、常駐を要しないこととすることができる。
- (2) 現場代理人等を不適当と認めるときは、これを交代させることがある。

## 8 適用規格

委託の適用規格は次の各号のとおりとする。

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| (1) 日本産業規格 (JIS)      | (5) 日本電機工業会標準規格 (JEM)     |
| (2) 日本下水道協会規格 (JSWAS) | (6) 電気学会電気規格調査会標準規格 (JEC) |
| (3) 日本水道協会規格 (JWWA)   | (7) 電気設備に関する技術基準          |
| (4) 機械学会設計基準          | (8) その他関係規格及び基準           |

## 9 励行及び厳禁

受注者は、場内の立入禁止・火気厳禁・使用禁止等の指定場所施設における指示事項等を厳守するように、従事者を指導管理しなければならない。

## 10 指示・承諾

次の各号に掲げる事項については、すべて監督員の指示又は承諾を受けなければならない。

- (1) 委託の施行順序・方法・工程
- (3) 既設の機器設備の運転・停止に関する事

- (2) 委託に使用する仮設物
- 1 1 関係監督官庁への許認可申請等
  - (1) 法令で定められた関係監督官庁への許認可申請等の手続きは、受注者において迅速に処理しなければならない。
  - (2) 関係監督官庁、その他の者に対し交渉を要するとき、又は交渉を受けたときは遅滞なくその旨を監督員に申し出て、その指示に従わなければならない。
- 1 2 納入材料及び機器
  - (1) 委託業務において納入する材料及び機器は、すべて未使用の製品を用いること。品質又は品名等が明示されていないものを納入するときは、監督員の承諾を受けなければならない。
  - (2) 委託現場に納入する材料及び機器は、すべて監督員の確認を受けること。この手続を怠り、監督員が不適当と認めたときは、使用後であってもこれを適当品と取り替えなければならない。
- 1 3 電力及び雑用水
  - 委託業務に必要な電力及び雑用水は、場内の別に指定する位置より支給する。ただし、支給を受けるに当たって、受注者は監督員の指示に従わなければならない。指示に反するとき、当局は支給を止めることができる。
- 1 4 既設構造物の保護
  - 委託業務に当たって、受注者は地上及び地下の既設物その他に支障を及ぼさないように、防護措置をとらなければならない。
- 1 5 運搬及び保管
  - (1) 破損等のないように入念に荷造りし、発着後の整理保管には十分に注意を払うこと。
  - (2) 各種材料機器の発送に当たっては、発送人名と受取るべき受注者名及び表記委託名を明確に記し、荷受に当たっては受注者が責任をもって処置すること。荷受すべき受注者不在のときは原則として日時を改めるものとする。なお、下請人が直接発送するときは、必ず受注者名を明記すること。
- 1 6 委託現場発生品
  - 受注者は、委託業務によって生じた現場発生品（発注者への返納品等）について、現場発生品の調書を作成し、監督員に提出しなければならない。
- 1 7 建設副産物の適正処理について
  - 発生品のうち、産業廃棄物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、受注者が責任を持って合法的に廃棄処分すること。当該廃棄物については、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストを発行し、廃棄処理が適正に行われていることを確認するとともに、そのA票、B2票、D票等の写しを監督員に提出すること。  
なお、管理票は委託完了後から、5年間保存しなければならない。
- 1 8 安全管理
  - (1) 受注者は委託業務に関する公衆災害、交通事故、労働災害、物件損傷その他の事故等の発生を未然に防止するため、必要かつ十分な安全管理の措置を講じること。
  - (2) 受注者は委託業務に当たり、安全管理に関する諸法規及び関係通達等を遵守のうえ、安全で円滑な施行を図り、適宜必要に応じて、地下埋設物・酸素欠乏症・火災・感電・墜落・爆発等の事故防止に努めなければならない。
  - (3) 受注者は、委託業務の安全施行の確保に必要なかつ十分な安全管理体制を組織すること。
  - (4) 受注者は自己の従業員はもちろんのこと、下請関係者等を含めた委託業務関係者全員に安全管理について周知徹底させること。
  - (5) 受注者は、委託作業中における事故防止のため、現場内の整理整頓、保安設備の設置等を行い万全を期すること。
  - (6) 受注者は、事故防止に備えて、標示・標識・ロープ・保安柵・注意灯・酸素欠乏測定器等、その他緊急時に必要な器具、機器及び資材等を常備しておくこと。
- 1 9 受注者の負担
  - 次の各号に要する費用は、受注者の負担とする。
  - (1) 軽易な事項で、設計図書に明記されていなくても、施行上並びに完了後の運転維持管理上欠くことのできない

## 材料及び作業

- (2) 各検査・試験及び写真撮影
- (3) 委託の手直し、又は過誤使用により生じる材料及び労力
- (4) 現場事務所・材料倉庫その他の仮設物の設置並びに撤去
- (5) 委託期間中の安全管理施設や材料の運搬搬入並びに管理
- (6) 関係監督官庁への許認可申請等の事務等に要する費用

## 2 0 施設停止及び他委託等との競合

受注者は委託業務に当たって、処理施設の停止を必要とする場合は、綿密な計画を立て、最短の停止期間で施行すること。また、他委託等と競合する場合は監督員が施行期間の指定をする場合がある。

## 2 1 段階確認

受注者は、試運転時及びその他監督員が求める施工段階において、段階確認を受けなければならない。

## 2 2 完了検査

- (1) 委託業務が完了すれば、受注者は直ちに現場内を清掃整理のうえ、下検査を行った後、当局の完了検査を受けなければならない。
- (2) 完了検査に当たって、監督員の指示がある場合は受注者が立ち会うこと。
- (3) 検査の結果、不合格の箇所があったとき、受注者は監督員の指示する期間内に手直しを完了しなければならない。

## 2 3 保証・契約不適合

- (1) 完了検査合格後、一年以内に天災その他不可避的な事故によらないで、委託目的物に欠陥・不備が発見されたときは、当局が指定する期間内に、受注者の負担において補修を行わなければならない。  
なお、当該箇所は補修後検査を受け、更に検査合格後一年の保証を行わなければならない。上記の期間を越える場合においても、受注者はその契約不適合責任を免れることはできない。
- (2) 受注者が前項に規定する義務を履行しないときは、当局は受注者の負担において、第三者にこれを履行させることができる。

## 2 4 損害補償

受注者は材料等の現場搬入時、又は施行時に既設構造物、機器、道路等を損傷した場合、及び第三者に損害を与えた場合は、復旧又は賠償の責任を負うこと。

## 2 5 委託写真

受注者は、検査の資料となる記録写真（カラー）を作業前、作業中、作業後等、進行状況に応じて作業工程ごとに撮影し、完成後、説明などを書き添えて、写真帳に整理すること。

カメラは、銀塩カメラ又はデジタルカメラとする。

写真の大きさは、サービスサイズ（カラー）を標準とする。

写真帳はA4版を標準とし、表紙には契約年度、委託件名、受注者名、期間等を記入する。

デジタルカメラの写真を印刷する場合は、A4版の上質紙とし、銀塩カメラの写真に比べて著しく劣ることのない画質であること、また、通常の使用条件のもとで5年間程度劣化が生じないものであることとする。

## 2 6 雑則

- (1) 受注者は委託業務に当たって、特許権その他第三者の権利の対象となっている作業方法等を使用する場合は、その使用に関する一切の責任を負うものとする。
- (2) 本仕様書の第2章以降及び内訳書、添付図面に記載された事項は、本仕様書の第1章に優先する。
- (3) 水環境保全センターにおいて環境マネジメントシステムを運用していることに鑑み、受注者は環境に配慮した委託業務に努めなければならない。
- (4) 受注者は委託業務に当たっては、可能な限り本市に本店を有する事業者から資材及び労務等の調達に努めること。

## 第 2 章 細 則

### 1 委託概要

本委託は汚泥分配槽、スカムピット（AB系）及び汚泥濃度調整槽（No.2）に堆積している砂及びし渣の浚渫を行うものである。

### 2 委託名

石田 浚渫委託

### 3 委託場所

京都市伏見区石田西ノ坪2番地  
京都市上下水道局下水道部石田水環境保全センター

### 4 工 期

令和7年1月31日

### 5 委託内容

#### (1) 汚泥分配槽等浚渫

ア 分配槽浚渫は生汚泥ポンプを停止させる必要があるため、処理に支障を来さない様に、停止期間（午前中）は最小限に行うこと。

イ 槽内の浚渫作業日は汚泥処理設備運転管理業者と工程調整を行うこと。

ウ 汚泥分配槽中央の槽は配管が多いため、φ100mm ステンレス管を取外し蓋を開けること。なお、配管はフランジ接合のため、φ100mm パッキンは新品に取替えること。

エ 汚泥分配槽天端 FL OP+20800 にあり、作業車は道路 GL OP+16500、水平距離約 8m、槽深さ 1.8m として、余裕をもってホースを配置すること。

#### (2) スカムピット浚渫（AB系）

ア AB系のスカムピットを浚渫すること。スカムピットはセンターで可能な水位（底から 1.5m 前後を想定）まで排水する。ただし、し渣等により想定まで排水出来ない場合がある。

イ 吸引車で吸引不可能なゴミ、し渣等は、人力で引き上げ、スクリーンかすホッパー（ホッパー室 2 階）まで搬出すること。

ウ 大雨により最初沈殿池水位が上がりスカムピットへの流入が停止出来ない場合がある。

エ ピット入口は水処理棟 2 階 FL OP+20800 にあり、作業車は道路 GL OP+16000、水平距離約 35m、ピット深さ 7.6m として、余裕をもってホースを配置すること。

オ ピット底は約 33 度の斜面で滑りやすいため、注意すること。

#### (3) 汚泥濃度調整槽浚渫（No. 2）

ア 槽内の汚泥を事前に排水するため、浚渫作業日は汚泥処理設備運転管理業者と

工程調整を行うこと。

イ 槽内壁面及び床面を高圧洗浄し、槽内中央ピットに堆積した汚砂及びし渣を浚渫すること。汚泥搔寄機及び上部汚泥投入部防波板に絡みついたし渣は手作業で取り外し土嚢袋に詰めホッパー室まで運搬し、し渣ホッパーへ投入すること。作業に必要な足場、土嚢袋は受注者にて準備すること。

ウ 足場はかき寄せ機があるため、単管足場とし、汚泥投入部防波板のし渣が除去できる高さまで設置すること。(図面参照)

エ 槽入口は FL OP+18700 にあり、作業車は道路 GL OP+16000、槽直径 13m、ピット深さ 8.8m として、余裕をもってホースを配置すること。

#### (4) 共通事項

ア 浚渫した汚泥の内、汚水についてはセンター内場内排水管に投入し、汚砂等については、京都市上下水道局下水道部鳥羽水環境保全センター（京都市南区上鳥羽塔ノ森梅ノ木1）内、洗砂設備に運搬すること。

洗砂設備受入時間は平日の 8：30～15：00 とする。時間内に持ち込めない場合は後日運搬すること。

イ 本作業に必要な使用車両一覧表を提出すること。(車両種別、ナンバー、最大積載量等)

ウ 作業前、作業中に酸素濃度等を測定し酸素欠乏、硫化水素等安全対策に万全を期すこと。(測定記録を提出)また、送風機による換気を行うこと。

エ ピット内作業中はピット外に監視員を置き作業すること。

オ ピット内足掛け金物等が滑りやすいため、滑落・転倒等においても安全対策に万全を期すこと。

カ 浚渫ホースは機器の架台柱等に固定し、暴れて付近の配管・機器等に損傷を与えないように注意すること。

キ 電力、用水は支給するものとするが、作業用電源の容量を超えるものを使用する場合は発電機を受注者にて用意するものとする。

ク 現地確認後必要な車両、ホース等を揃え行うこと。

## 6 一般事項

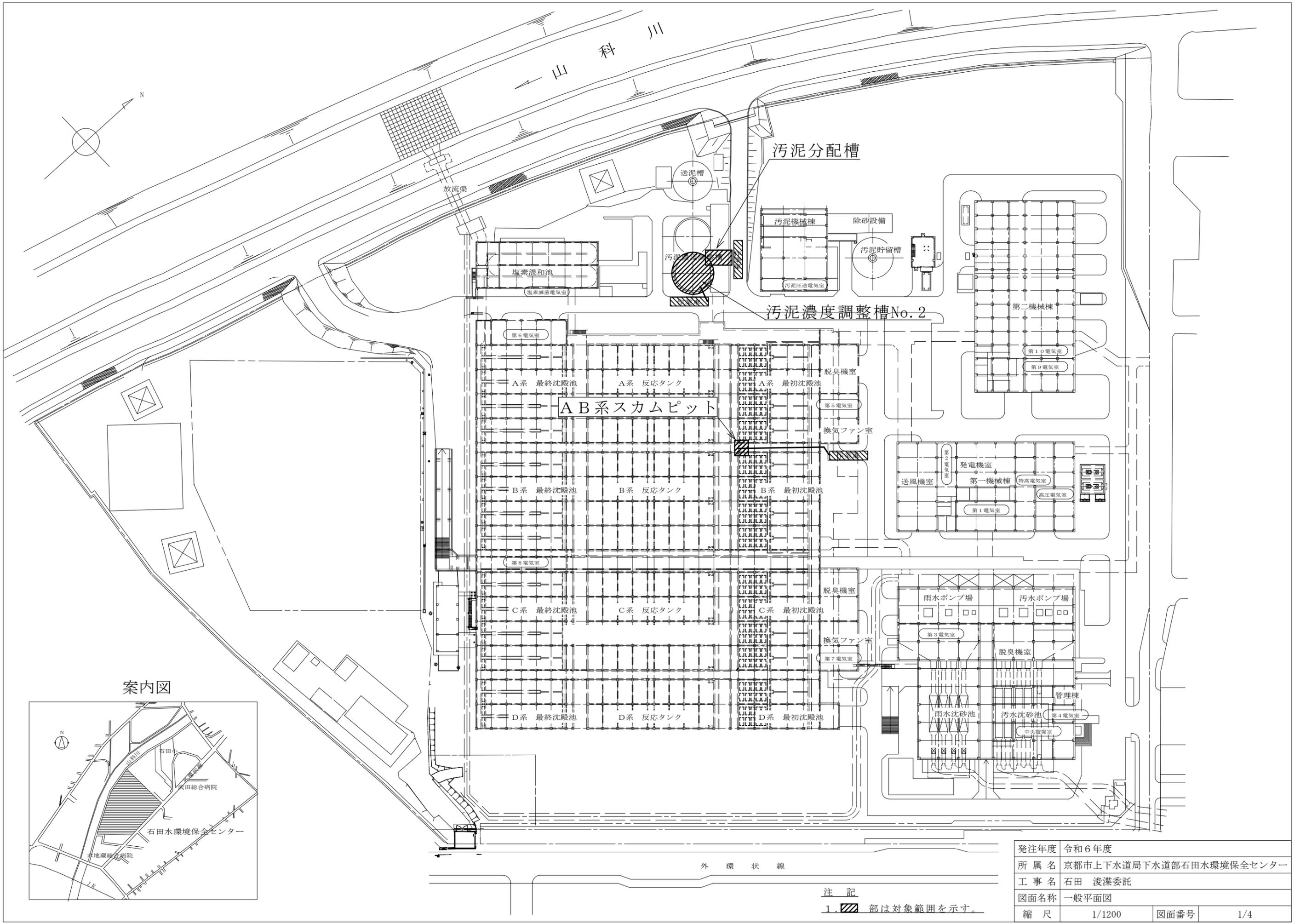
(1) 本委託の作業にあたり、石田水環境保全センターの維持管理に出来る限り支障を来たさない様に、施設の停止期間は最小限に行うこと。

(2) 作業時間は平日 8 時 30 分より 17 時 15 分迄とし、原則として土曜日及び日祝日の作業は行わない。但し、作業工程上支障を来す場合はこの限りでないが、前もって当局監督員の承諾を得ること。

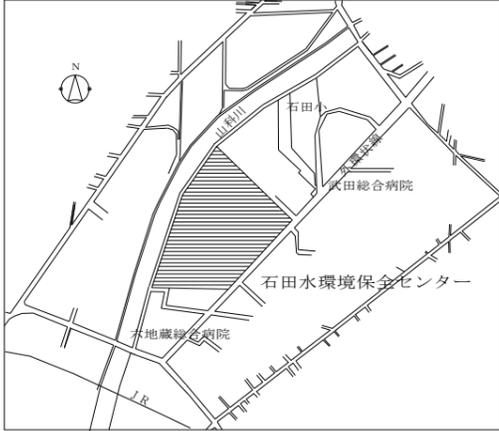
(3) 廃材撤去品については、分別し場内指定場所へ運搬し現場発生品調書を提出すること。

(4) 今回委託を行うにあたり不明瞭な事があれば、当局監督員に問い合わせ、十分に協議を行い、その指示に従うこと。

(5) 当センターでは作業車以外の乗り入れを禁止しております。ご協力をお願い致します。



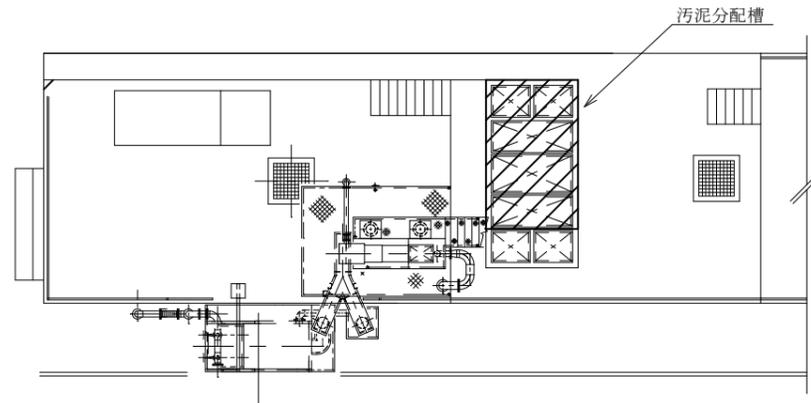
案内図



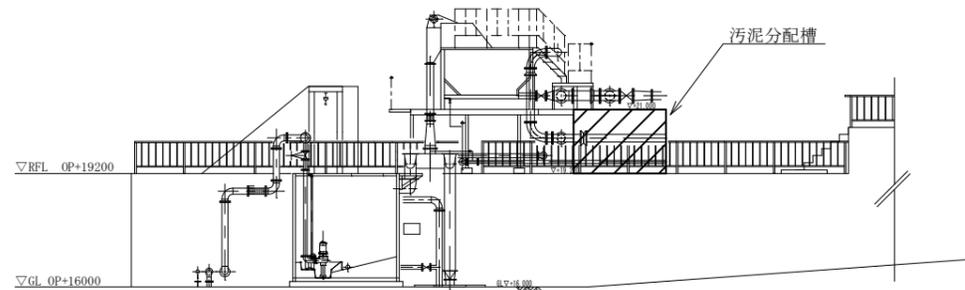
注記

1. 斜線部は対象範囲を示す。

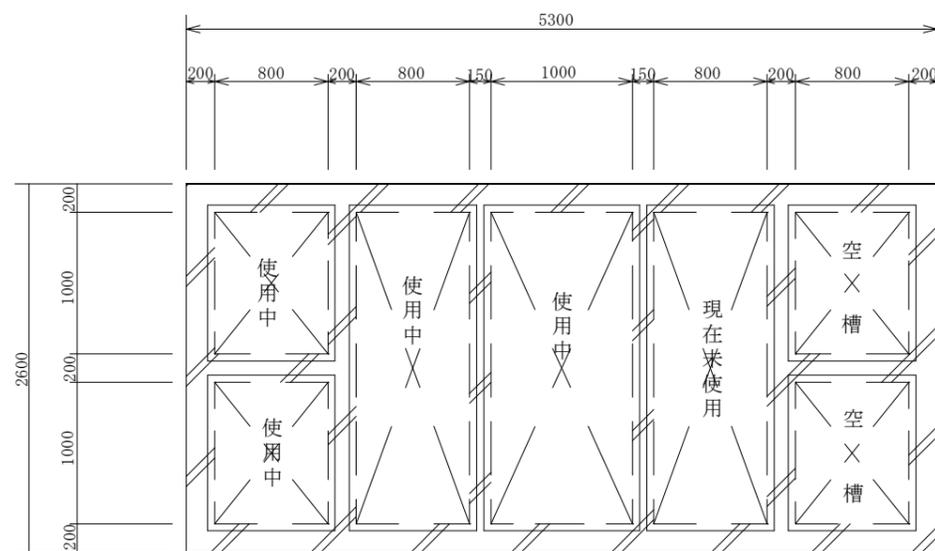
発注年度	令和6年度
所属名	京都市上下水道局下水道部石田水環境保全センター
工事名	石田 浚渫委託
図面名称	一般平面図
縮尺	1/1200
図面番号	1/4



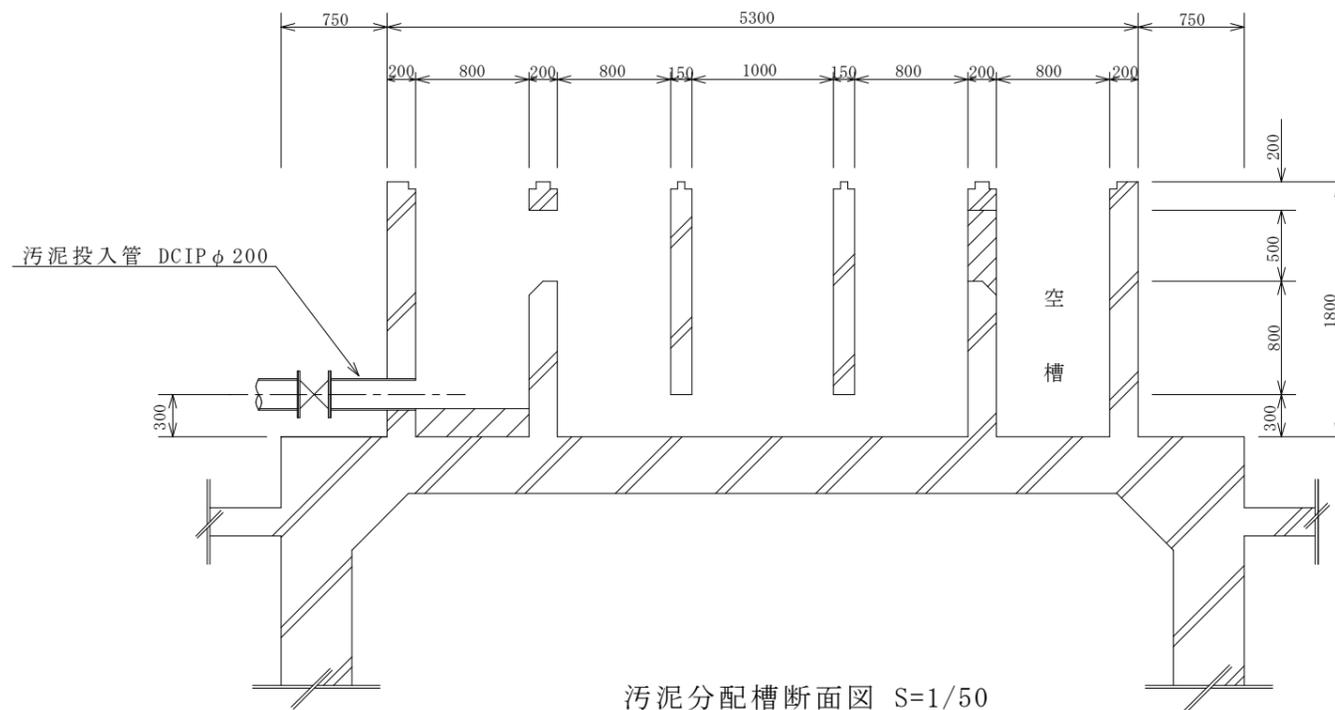
汚泥分配槽配置図 (平面) S=1/200



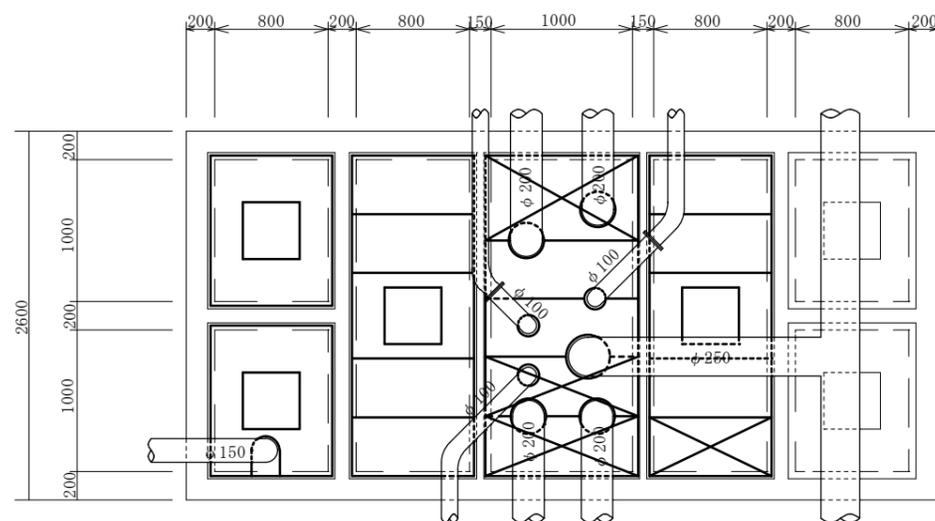
汚泥分配槽配置図 (断面) S=1/200



汚泥分配槽平面図 S=1/50



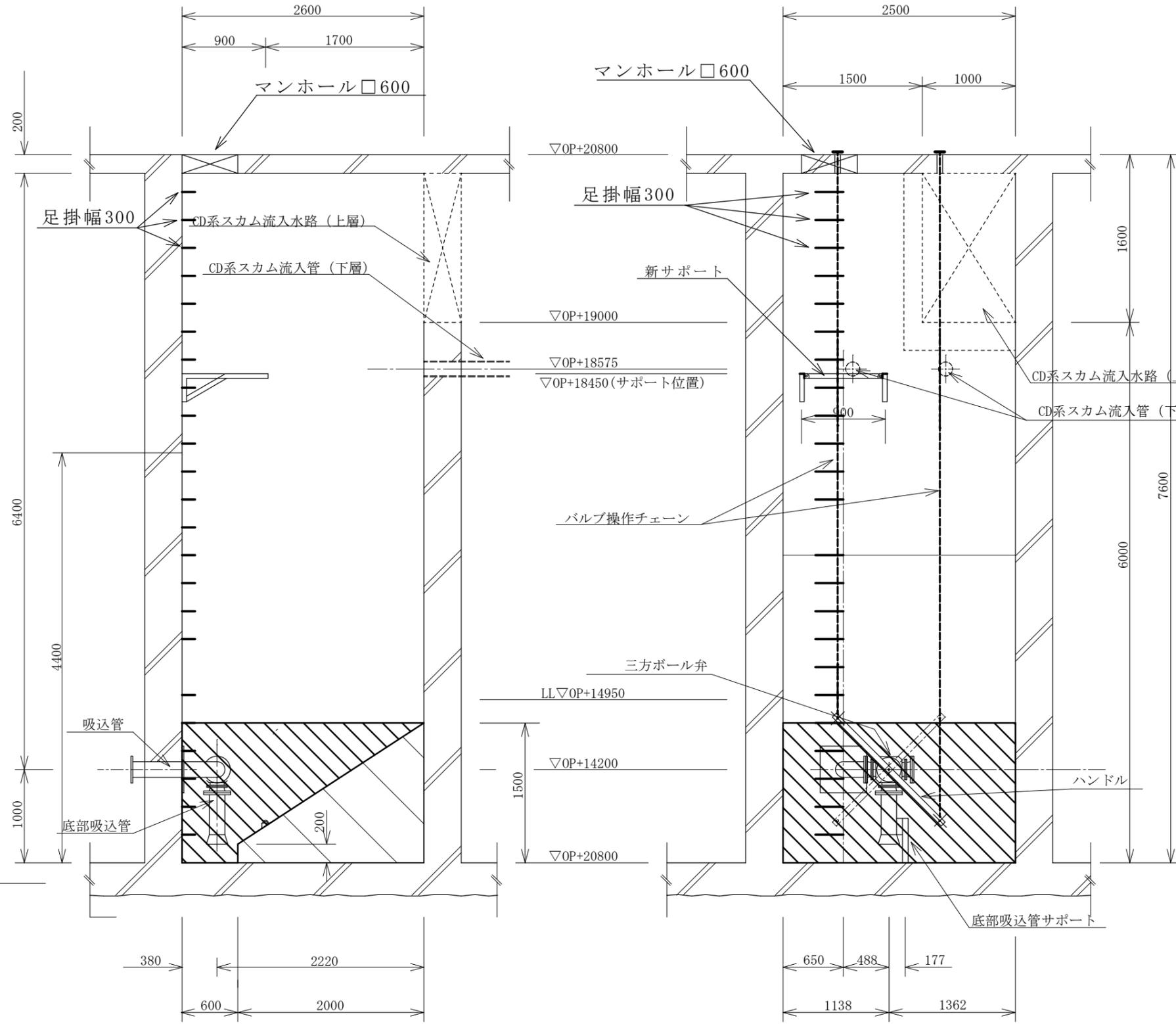
汚泥分配槽断面図 S=1/50



汚泥分配槽蓋割付図及び上部配管詳細図 S=1/50

- 使用中の槽については底部に砂の堆積が多少有り、未使用槽については底部に砂・汚泥の堆積、上部にし渣が堆積し固まっていると予想される。
- 蓋上に配管等が有り蓋割付図×の蓋は取り外し不可。
- φ 100管は、作業に支障があればフランジより取り外し可。

発注年度	令和6年度		
所属名	京都市上下水道局下水道部石田水環境保全センター		
工事名	石田 浚渫委託		
図面名称	汚泥分配槽詳細図		
縮尺	1/200, 1/50	図面番号	2/4

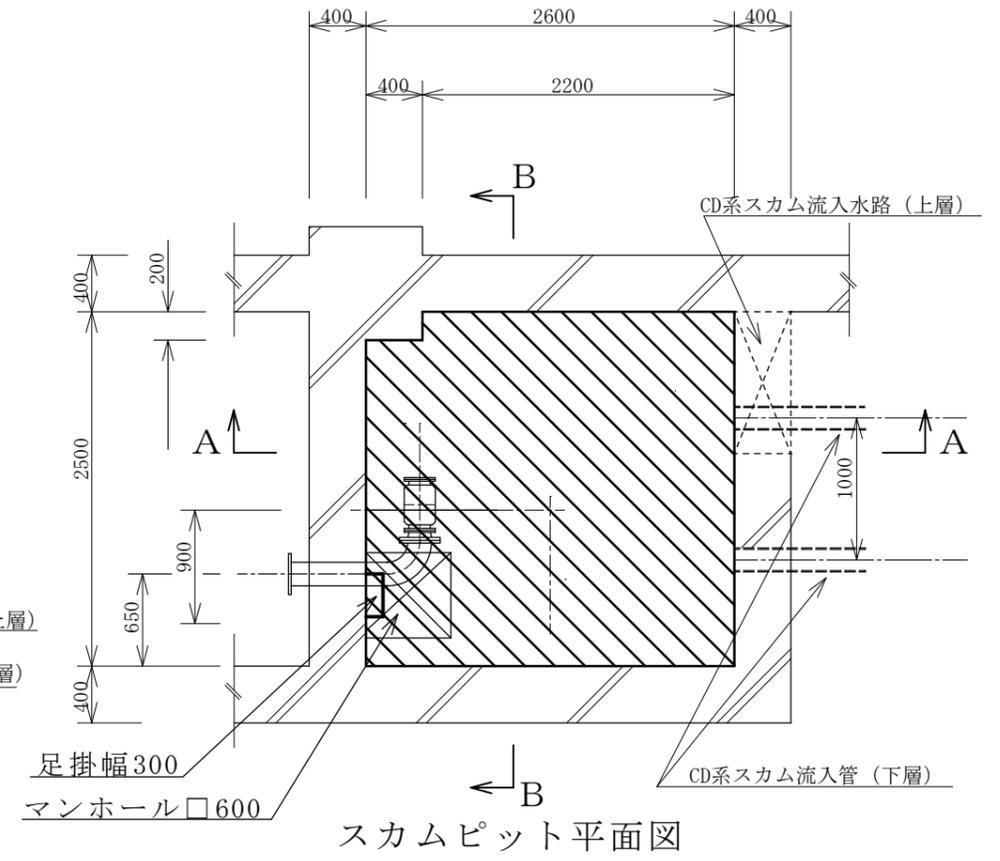


A - A 断面図

B - B 断面図

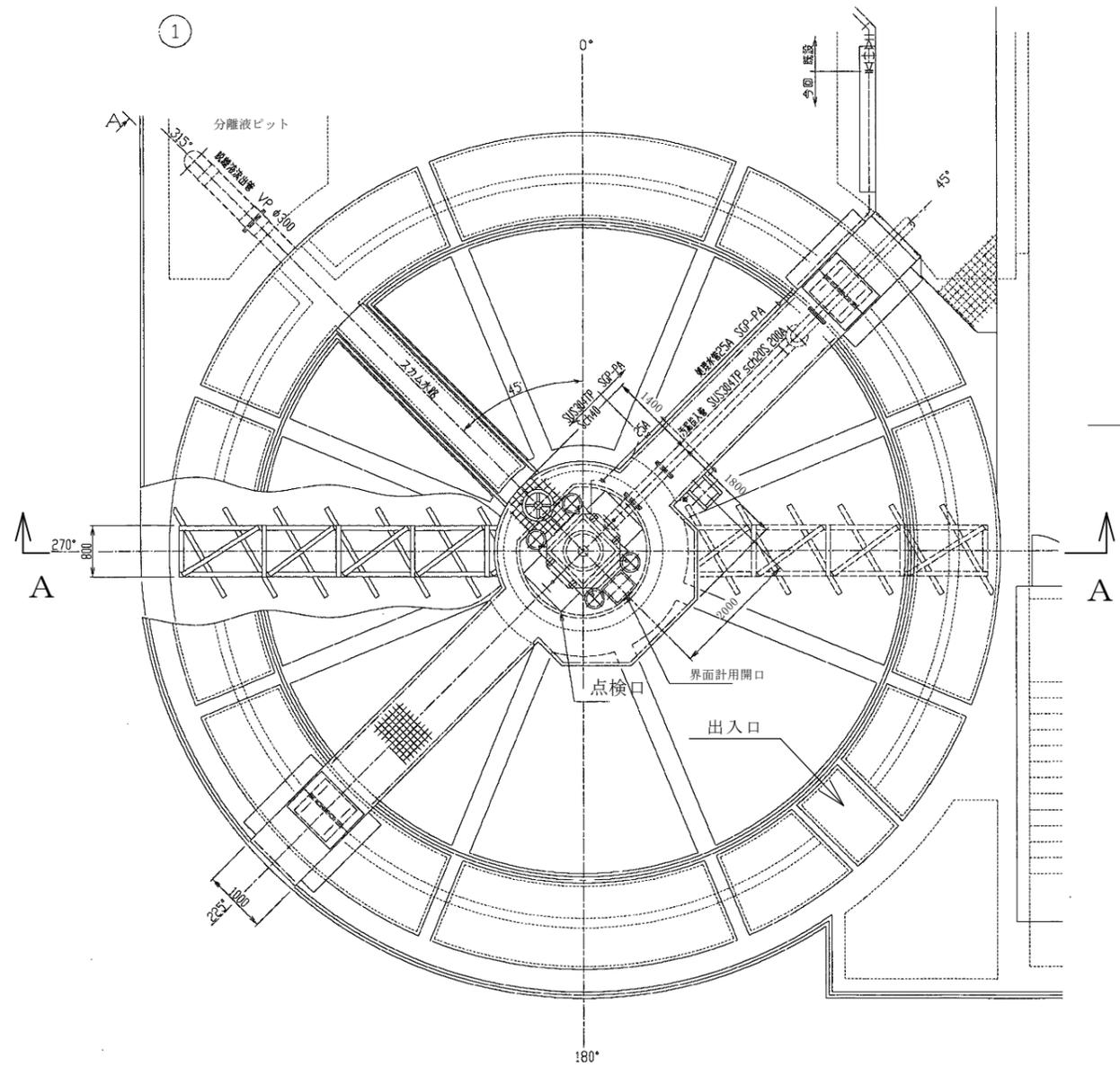
 : 想定浚渫範囲 約 5.4m<sup>3</sup>

注) 吸込み装置は水位により上下する。

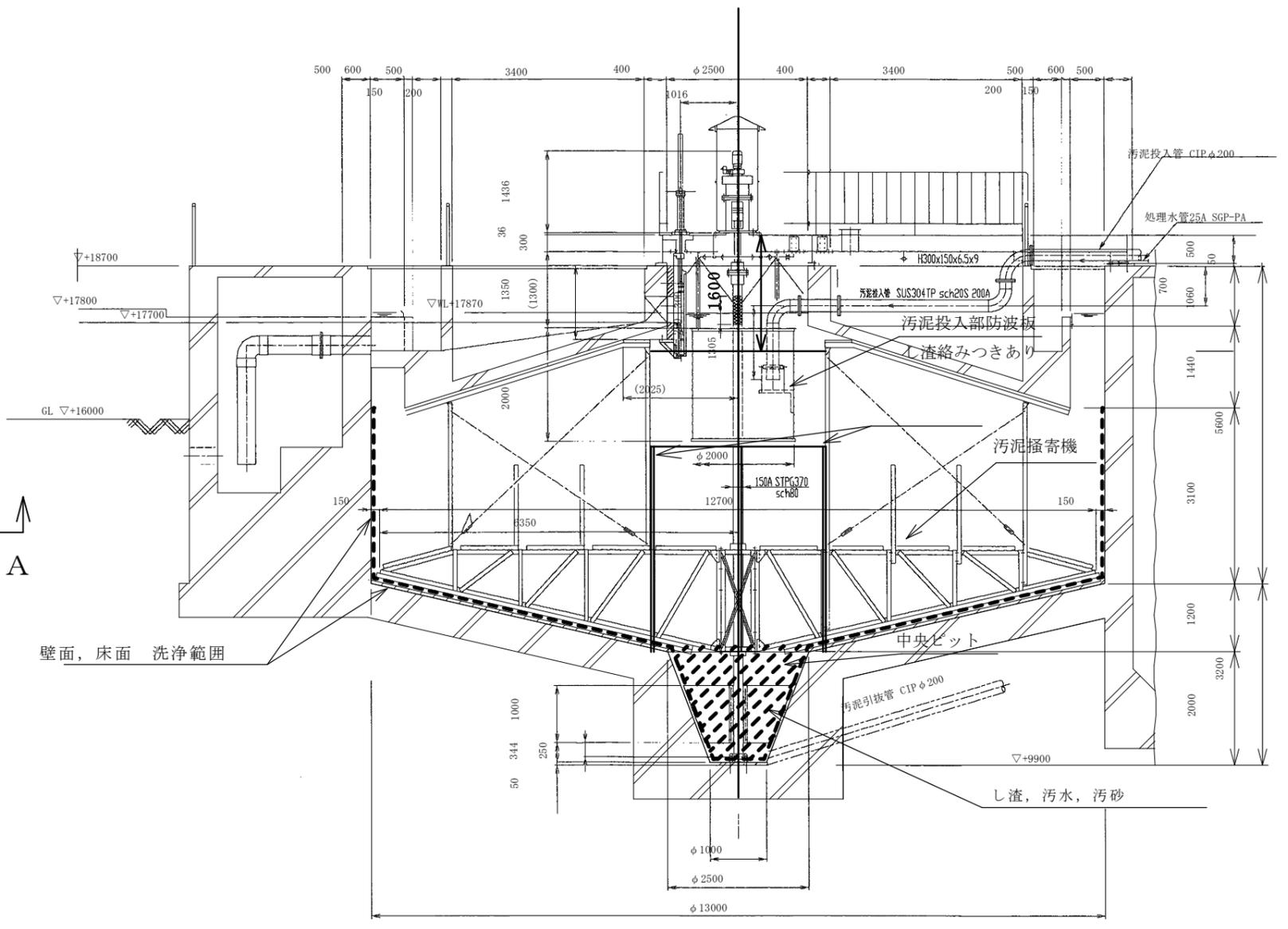


スカムピット平面図

発注年度	令和6年度		
所属名	京都市上下水道局下水道部石田水環境保全センター		
工事名	石田 浚渫委託		
図面名称	スカムピット構造図		
縮尺	1/45	図面番号	3/4



平面図



A-A断面図  
 浚渫範囲（断面図）

汚泥掻寄機及び各所に絡みついたし渣は手作業にて取り外すこと。  
 取り除いたし渣は土嚢袋に詰め、し渣ホッパーに搬出すること。  
 足場設置箇所にはゴムシート等で防食塗装を養生すること。  
 足場設置高さは汚泥投入部防波板のし渣除去ができる高さまで設置すること。  
 図中の足場は設置高さを示すための参考図。

発注年度	令和6年度		
所属名	京都市上下水道局下水道部石田水環境保全センター		
工事名	石田 浚渫委託		
図面名称	汚泥濃度調整槽 No.2		
縮尺	1/100	図面番号	4/4

# 委 託 設 計 書

課 長	係 長	照 査	設 計

令和 6年度

設計年月 令和 6年10月

工期 令和 7年 1月31日

委 託 名 石田 浚渫委託

委 託 場 所 京都市伏見区石田西ノ坪 2 番地

京都市上下水道局下水道部石田水環境保全センター

委 託 料 金 \_\_\_\_\_ 円

委 託 価 格 \_\_\_\_\_ 円

消費税及び

地方消費税相当額 \_\_\_\_\_ 円

# 内 訳 書 （ 総 括 ）

（ 1 / 1 ）

委 託 名	石田 浚渫委託							
費 目	工 種	種 別	単 位	数 量	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
委託料								
	その他							
		直接費	式	1				
		直接経費	式	1				
		諸経費	式	1				
委託価格								
消費税及び 地方消費税 相当額			式	1				
委託料計								

# 内 訳 書

( 1 / 2 )

委託名	石田 浚渫委託								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
委託料									
直接費									
	分配槽浚渫		式	1					
	スカムピット浚渫	AB系	式	1					
	濃度調整槽浚渫	No.2	式	1					
	計								[複合費]
	直接費計								直接費
直接経費									
	足場工	パイプサポート支保 V<=40m3, f<=40kN, t<=120cm	式	1					

# 内 訳 書

( 2 / 2 )

委託名	石田 浚渫委託								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
	直接経費計								直接経費
計（委託原価）									
諸経費									
	諸経費		式	1					
	諸経費計								諸経費
委託価格									
消費税及び 地方消費税 相当額			式	1					
委託料計									